

<参考：東日本大震災発生以降の対応状況>

1 栄養補助食品の受入と供給

- ・受入：各メーカー等から濃厚流動食，嚥下食，ビタミン強化米 など
- ・供給：避難所，医療施設，市町村

2 管理栄養士等の派遣（各自治体及び団体）

- ・派遣人数：延べ約 1,150 人（自治体約 530 人，団体約 620 人）

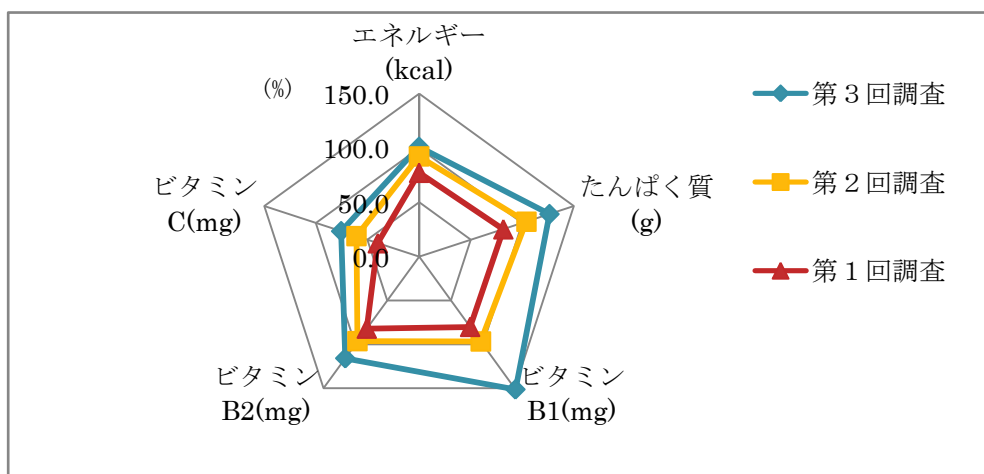
3 避難所の食事状況調査

- (1) 調査方法：避難所の運営責任者等からの聞き取りによる。
- (2) 調査対象：第 1・2 回調査は沿岸部市町の全避難所，第 3 回以降は避難者 50 人以上の避難所
- (3) 調査項目：食事の内容（献立，量），食事の回数，個別配慮の状況 など
- (4) 調査者：管理栄養士（県職員，市町職員，他自治体派遣職員，社団法人宮城県栄養士会）
- (5) 県の対応：結果に基づき，避難所を運営する市町へ必要な助言を実施

【調査期間等】

	調査期間	調査か所数
第 1 回	4 月 1 日～4 月 12 日	332 か所
第 2 回	5 月 1 日～5 月 20 日	241 か所
第 3 回	6 月 1 日～6 月 20 日 以降 10 月まで毎月調査を継続	49 か所

【調査結果①：栄養素別の目標量充足率】



【調査結果②：食事内容（主菜，副菜等の 1 日あたり平均提供回数）】

